

こたえ リスと森

はってん
発展 ③

リスと森

秋になると、リスはクルミなどの木の^み実をあつめて、^{じめん}地面のおちばの下や、木のえだにかくします。食べものが少ない冬にそなえるためです。

リスは、かくしたばしよを、かなりよくおぼえています。それでも、ほかのどうぶつに食べられたり、リスが食べのこしたりして、春までそのまま^{じめん}地面にのこる^み実もあります。

そのような^み実から、春にめが出て、やがて大きな木にそだちます。リスがはこんだ木の実が、森を新しくそだてるのに、

①<ruby>「役<rt>ひとやく</rt></ruby>買<rt>か</rt>っているのです。

1 リスが木の^み実をかくすのは、どうしてですか。

食べものが少ない冬にそなえるため。

2 リスは、木の^み実を^{じめん}地面の何の下にかくしますか。

おちばの下

3 春までのこった^み実は、どうなりますか。

ア くさってしまふ。

イ めが出て、木にそだつ。

ウ リスがすべて食べる。

4 ①「一^{ひと}役^{やく}買<rt>か</rt>っている」とは、どういういみですか。

ア 役<rt>やく</rt>に立っている

イ じゃまをしている

ウ お金をはらっている

5 この^{ぶんしやう}文章で、いちばんつたえたいことは何ですか。

リスがはこんだ木の実が、森をそだてるのに役<rt>やく</rt>立っていること。

おうちの方へ

・4の「一役買う」は、すすんで役目を引き受ける、という意味の言い回しです。

参考資料：森林総合研究所「ニホンリスの貯食行動によるオニグルミの更新」／森林総合研究所 多摩森林科学園「ニホンリス」